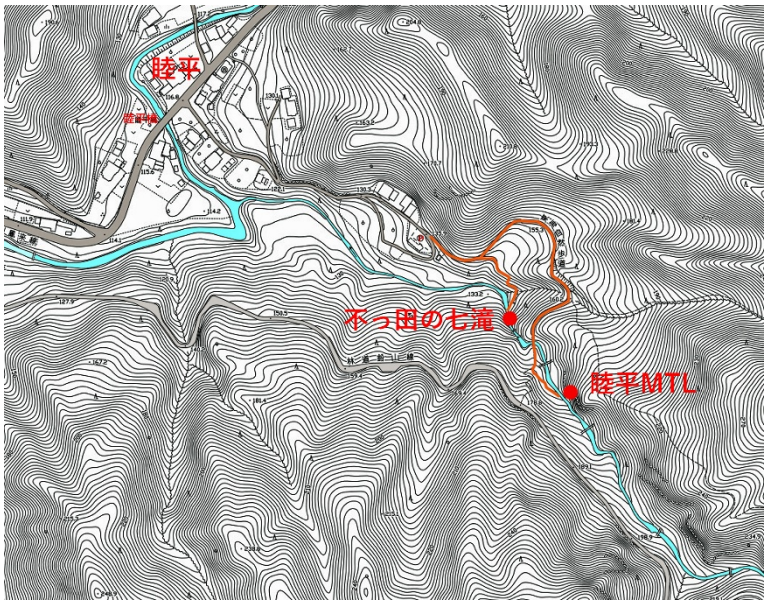
62　中央構造線睦平露頭

愛知県東部の新城市睦平に近年，見つけられた中央構造線の露頭があります。



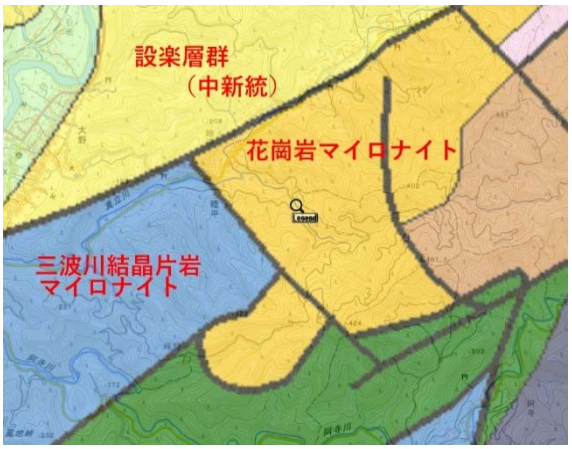


図 1（左）ポイント（新城市基本図に加筆）
図 2（上）地質図（地質図 Navi に加筆）

2005 年に発見された露頭です。睦平から駐車場（￥100）までの道は狭いですが，車で行けます。露頭は最初の堰堤のすぐ上流側です。露頭では見かけの上位に領家帯の花崗岩類が，下側には三波川帯の結晶片岩類が見られます。花崗岩は白っぽく，結晶片岩は暗緑～黒色をしていますが，両方の岩石ともマイロナイト化しています。断層は川の水面付近から右手側の上方に続いています。図 2 の地質図（o印）では花崗岩マイロナイト分布地になっています

図 3　断層露頭





図 4（右）現地の説明板

駐車場から，断層露頭へ向かう途中で右下に降りていくと不っ田の七滝が見られます。花崗岩のマイロナイトにかかっています。2km ほど東には阿寺の七滝があります。

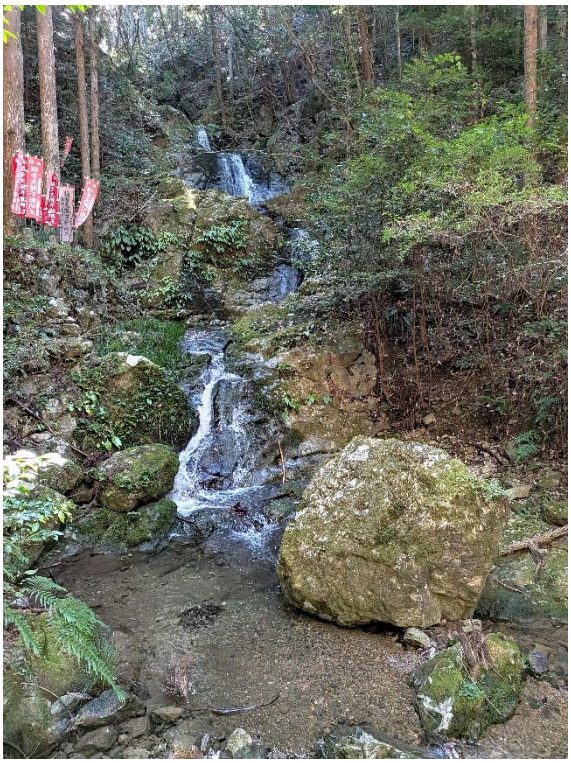


図 5　不っ田の七滝　→

参考文献

斎藤正次，1952，5 万分の 1 地質図幅「三河大野」．地質調査所．

鳥居 孝，2015，新城市の中央構造線の露頭案内．新城市の自然誌　地学偏，p.70.

【村松憲一】